

<配置案（3案）について>

※数値は目安です。また、資料の図などはイメージであり、今後の基本設計において変更になる可能性があります。

	A案 <反転建替え> 特徴：建物がシンプルでコンパクトにまとまっており、運動場面積が確保しやすい	B案 <原位置建替え> 特徴：既存校舎側に建物を建てるため、現在の配置環境が変わらない。また、正面道路から建物にアクセスしやすい																																																																						
配置イメージ	完成後	工事期間中 ※既存体育館は使用可能	完成後	工事期間中 ※既存体育館は使用可能																																																																				
	断面イメージ	<table><tr><th>整備フロー</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th></tr><tr><td>①建設工事等</td><td>①</td><td>★引越し</td><td></td><td></td></tr><tr><td>②既存校舎・体育館解体</td><td></td><td></td><td>②</td><td></td></tr><tr><td>③運動場工事</td><td></td><td></td><td></td><td>③ 供用開始</td></tr></table>	整備フロー	1年	2年	3年	4年	①建設工事等	①	★引越し			②既存校舎・体育館解体			②		③運動場工事				③ 供用開始	断面イメージ	<table><tr><th>整備フロー</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>①プレハブ校舎設置等</td><td>①</td><td>★引越し</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>②既存校舎解体</td><td></td><td>②</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>③建設工事</td><td></td><td></td><td>③</td><td>★引越し</td><td></td><td></td></tr><tr><td>④プレハブ解体</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>④</td><td></td></tr><tr><td>⑤既存体育館解体</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>⑤</td></tr><tr><td>⑥運動場工事等</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>⑥ 供用開始</td></tr></table>	整備フロー	1年	2年	3年	4年	5年	6年	①プレハブ校舎設置等	①	★引越し					②既存校舎解体		②					③建設工事			③	★引越し			④プレハブ解体					④		⑤既存体育館解体						⑤	⑥運動場工事等					
整備フロー	1年	2年	3年	4年																																																																				
①建設工事等	①	★引越し																																																																						
②既存校舎・体育館解体			②																																																																					
③運動場工事				③ 供用開始																																																																				
整備フロー	1年	2年	3年	4年	5年	6年																																																																		
①プレハブ校舎設置等	①	★引越し																																																																						
②既存校舎解体		②																																																																						
③建設工事			③	★引越し																																																																				
④プレハブ解体					④																																																																			
⑤既存体育館解体						⑤																																																																		
⑥運動場工事等						⑥ 供用開始																																																																		
メリット	【計画全般】 ○まとめて解体工事ができるため、工期約4年となる ○反転建替えのため、学校の引越しが1回となる ○約8,500㎡の運動場を確保できる ▲校舎棟が高層化 ▲建物が正面道路から奥の配置となるため、歩行者と車両のアプローチの確保が必要 ▲これまでよりも大きく・高くなる小中施設一体の新校舎の建物が、隣接する学校や東側の住宅へ近くなるため、騒音・日照等周辺への影響がある 【工事期間中の影響】 ▲馬出小敷地内で学校運営と校舎建設を行うため、児童に対して工事の影響がある（騒音・振動、工事車両の通行など） ○福岡中への影響はない ○体育館は小中の2か所で利用調整が不要 －通学距離は変わらない －完成後に小中施設一体での児童・生徒の学校生活となる		【計画全般】 ▲解体工事が分散するため、工期約6年となる ▲原位置建替えのため、学校の引越しが2回となる ▲約7,500㎡の運動場は確保できる ▲校舎棟が高層化 ○正面道路からの動線が短くアクセスしやすい ○これまでよりも大きく・高くなる小中施設一体の新校舎の建物が、敷地中央側の配置となるため、周辺に与える影響がほぼ変わらない 【工事期間中の影響】 ▲馬出小敷地内で学校運営と校舎建設を行うため、児童に対して工事の影響がある（騒音・振動、工事車両の通行など） ○福岡中への影響はない ○体育館は小中の2か所で利用調整が不要 －通学距離は変わらない －完成後に小中施設一体での児童・生徒の学校生活となる																																																																					

福岡中学校・馬出小学校の建替え基本計画について

※数値は目安です。また、資料の図などはイメージであり、今後の基本設計において変更になる可能性があります。

	C案 <更地建替え> (福岡中へ仮引越)		特徴： 福岡中に馬出小の仮設校舎を建設し学校運営するため、馬出小は更地にでき、建替え工事をしやすい。																				
配置イメージ	完成後 【馬出小】 		工事期間中 ※福岡中学校に仮設校舎を建設 【福岡中】 																				
	断面イメージ ※体育館はA、B案断面と同じ		<table><tr><th>整備フロー</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th></tr><tr><td>(福岡中) ①プレハブ校舎設置</td><td colspan="4">① ★引越し(小)</td></tr><tr><td>(馬出小) ②既存校舎等解体</td><td colspan="4">②</td></tr><tr><td>③建設・運動場工事</td><td colspan="4">③ ★引越し(小中) 供用開始</td></tr></table>		整備フロー	1年	2年	3年	4年	(福岡中) ①プレハブ校舎設置	① ★引越し(小)				(馬出小) ②既存校舎等解体	②				③建設・運動場工事	③ ★引越し(小中) 供用開始		
整備フロー	1年	2年	3年	4年																			
(福岡中) ①プレハブ校舎設置	① ★引越し(小)																						
(馬出小) ②既存校舎等解体	②																						
③建設・運動場工事	③ ★引越し(小中) 供用開始																						
メリット	【計画全般】 ○更地で工事ができるため、 工期約4年となる ▲馬出小が福岡中に仮引越しするため、 学校の引越しが2回となる ○ 約8,500㎡の運動場 を確保できる ○校舎棟の 中層化 が可能 ○ 正面道路からの動線が短くアクセスしやすい ○これまでよりも大きく・高くなる小中施設一体の新校舎の建物が、正面道路側の配置となるため、 周辺に与える影響がほぼ変わらない 【工事期間中の影響】 ○ 学校運営と校舎建設が別々の場所 となり、児童に対する工事の影響は少ない ▲児童・生徒の運動エリアは、 小中での共用となる ▲福岡中へのプレハブ校舎建設に伴い、特に 部活動等への影響が大きくなる ▲ 体育館も福岡中の1か所で利用調整 が必要（部活動の時間帯は、原則地域サークル利用不可） ー通学距離が短くなる児童もいるが、 通学距離が長くなる児童が多くなる ○先行して同じ場所で学校生活を送ることで、完成前に小中の児童・生徒の一体感を醸成できる																						